

生命歯学部74回卒 30周年同期会

平成27年11月14日冷たい雨の土曜日、白金台の八芳園1階「アルブル」で午後6時30分より生命歯学部74回卒30周年同期会が開催されました。

司会進行は高松和宏君（渋谷区開業）と小島一恵さん（練馬区開業）が行い、冒頭の挨拶で本日の参加者は来賓の倉治康男校友会本部専務理事を入れると偶然にも卒業回数と同じ74名だと報告がありました。

まず、代表幹事の河野 勉 君（大田区開業）が同期会の会計報告並びにこの会の会費の一部を母校に寄付をさせていただいたことの報告があり、次に倉治専務理事より校友会事業全般にわたる説明、歯科界の状況、74回卒との繋がりについてのお話を頂戴しました。

次いで校友会本部専務理事の佐藤全孝君が、「今日11月14日（イイトシ）はアンチエイジングの日（2007年にNPO法人アンチエイジングネットワークが制定された日）、皆さん、学生時代に戻って思う存分若返ってください」と挨拶し乾杯の音頭となりました。

久しぶりに会う懐かしい顔は昔のまま（?）、円卓の着席スタイルを楽しむ人、立食形式のように自分の席を離れて楽しむ人など、そこかしこに笑顔の輪ができていま

した。また、途中で74回卒で大学に残っている附属病院副院長の内川喜盛君（小児歯科教授）、仲谷 寛 君（総合診療科教授）、前田宗宏君（歯科保存学講座准教授）から大学と附属病院の現況について説明がありました。それから現在子弟が本学の在学中の11名が壇に上がり、一人ひとりが子弟の現況報告をしました。また、祝電披露では中原 泉 学長、西村まさみ参議院議員他から心温まるメッセージをいただきました。

会も終盤に、突然スクリーンに卒業アルバムの方の顔写真と30年の社会貢献を重ねた楽しそうな本日の映像が対比して映し出され、会場に歓声があきました。

最後に記念写真撮影後、元体育会会長の三重県開業の駒田憲之君（元サッカー部）指揮のもと元体育会役員によるエールと全員で校歌斉唱し、閉会となりました。

二次会は近くのお店で行いましたが、ほとんどの同級生が参加して再び大盛り上がりとなりました。

30年の月日が経ったことを忘れてしまう仲間たちとの時間は心に刻まれ、明日への活力になることでしょう。まさに11月14日は“74回卒のアンチエイジングな日”で、次回における再会を申し合わせ散会となりました。
(小林洋子 記)



生命歯学部74回卒 30周年同期会 平成27年11月14日 八芳園「アルブル」